



平成29年度 山形県PTA連合会

(結成：昭和24年2月)

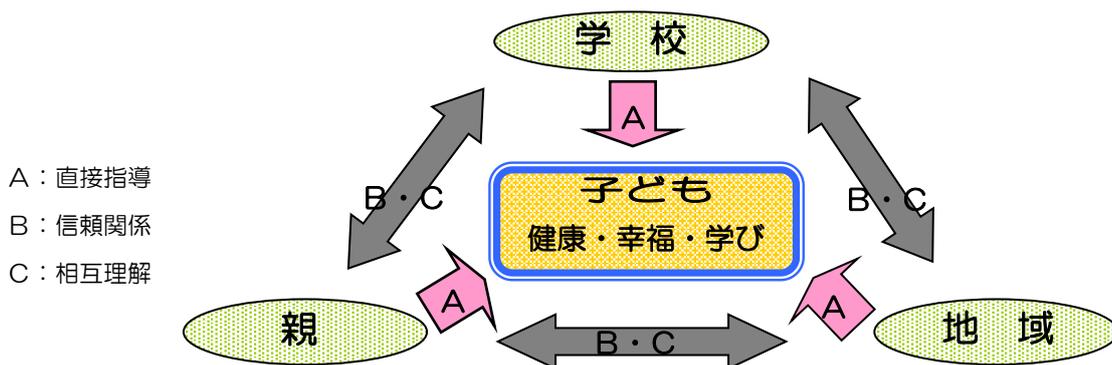
山形県PTA連合会事務局

〒990-0031 山形市十日町一丁目6番6号（山形県保健福祉センター内）
TEL (023) 631-0055 ・ FAX (023) 635-4359

PTAってなあに？

PTAとは、家庭教育の責任者としての親と、学校教育の専門家としての教師が互いに協力・学習し、すべての子どもたちの健やかな成長のために活動する団体です。家庭・学校・地域の架け橋としての役割と責務を認識し、家庭の教育力の向上や地域における教育環境の改善・充実を図るために学習し、その成果を活動に生かして、子どもたちの健全育成を目指しています。

Parents（親） Teachers（教師） Association（団体）



A 直接の指導・支援

- ① 教師による子どもたちへの指導支援（学習指導、特別活動や生活指導・・・）
- ② 保護者による子どもの学校支援ボランティア（教師の負担が減り、教師は余裕をもって子どもに接することができる）
- ③ 地域の人材による支援（教育ボランティア、学校支援地域コーディネーター・・・）

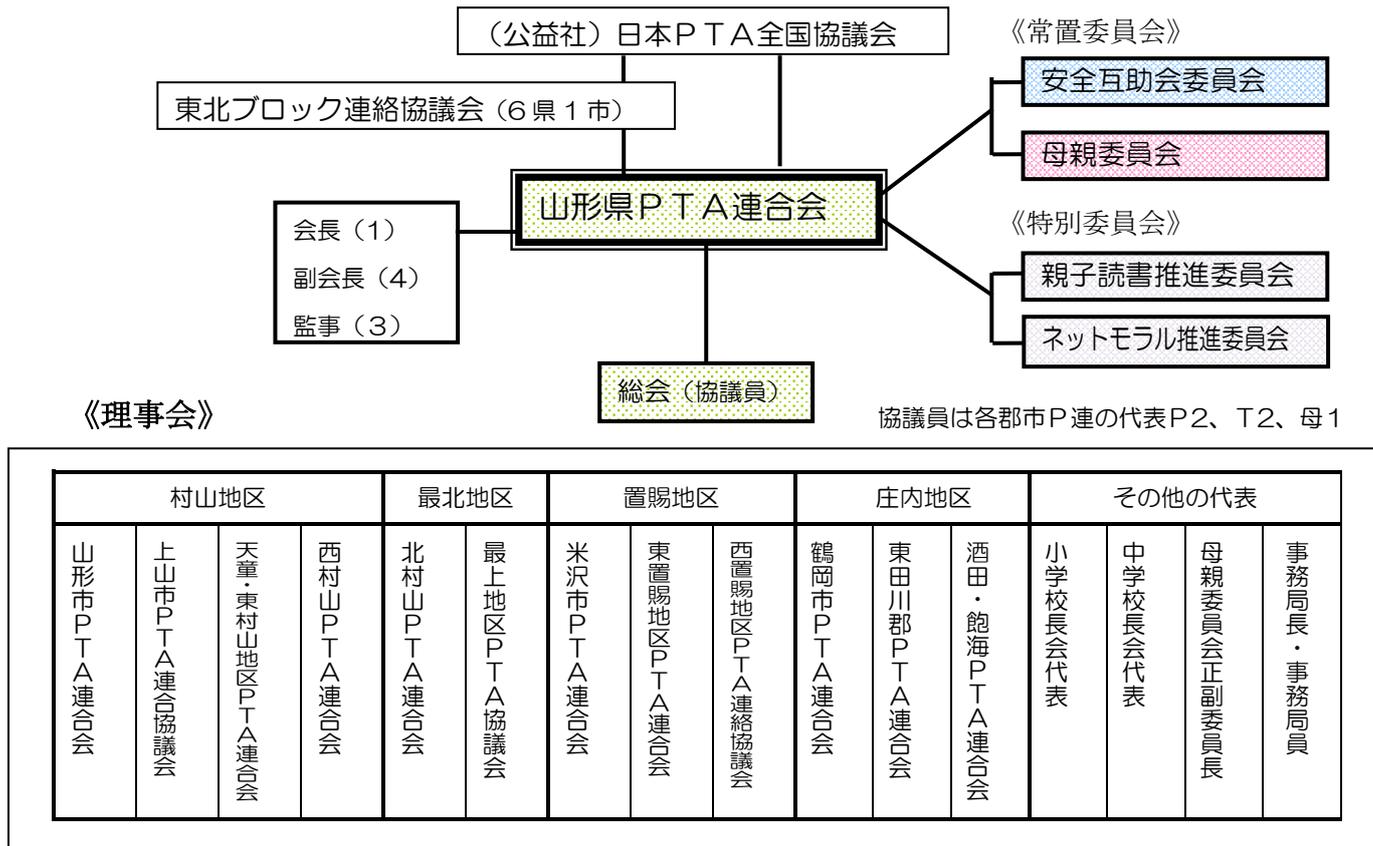
B 信頼関係の形成

- ① 学校（教師）と保護者の信頼関係は子どもの学習・生活環境を支える基礎となる
- ② 地域における教育への思いを共有し、大人としてのやりがい・自己実現が図られる
- ③ 地域住民が学校運営へ参画することにより、学校に対する理解が深まり、教育効果の向上が期待できる

C 相互理解（「架け橋」としての役割）

- ① 教師同士の学び合い（教師の同僚性の発揮、切磋琢磨、信頼関係・・・）
- ② 保護者同士の学び合い（各種研修会による学習、授業参画、授業支援、子育て支援、サークル活動、放課後子ども教室・・・）
- ③ 地域住民の学び合い（学校・PTAを中心としたコミュニティが形成され地域の活性化が図られる・・・）

山形県PTA連合会の組織



山形県PTA連合会の活動

目的

山形県PTA連合会は昭和24年2月に結成されました。一貫して子どもたちの健やかな成長と幸福を願い、父母と教師が互いに学び合い、その成果を活動に活かし、地域社会の環境浄化や子どもの校外生活の充実に努めています。

活動

(1) 父母と教師が、子どもの教育の責任を分担し、密接な連携のもとに学校教育の理解と振興に努めます。

(実践例) 授業参観、講座、研究会、研修会、懇談会、調査活動…

(2) 教育の基本は家庭教育です。その意義と役割を再認識し、家庭における本来の教育機能が十分発揮されるよう、相互に研修し実践します。

(実践例) 家庭教育に関する研究会、講演会、学習活動、地域活動での研修、家庭教育学級の開設…

(3) 学校の教育方針にもとづく校外指導に協力します。

(実践例) 各種のパトロール、交通安全に関する活動、各種少年団の育成、地域の伝統的な行事の実施、スポーツ、リクレーション、学校開放に関すること、文化活動…

(4) 地域の環境（人と物）を、教育的に改善することに努めます。

児童生徒数 PTA会員数

単位PTA（小・中学校343団体：組織率100%）

会員数（69,432人）

児童生徒数（小一54,284人、中一29,776人、合計84,060人） *平成29年度の資料から

山形県PTA連合会の主な歩み

年・月・日	で き ご と
昭 24 / 2/28	山形県PTA連合会が結成され初代会長に松沢太治郎氏を選出（事務局・山形三小）
昭 24/10/28	第1回山形県PTA大会（山形一小）
昭 31/1/15	第1回PTA週間（「教育を守る県民大会」の趣旨実現のため）
昭 33/10/4	県P結成十周年記念第10回山形県PTA大会（山形一小・1500人）
昭 42/ 9/ 1	日本PTA東北ブロック研修会（蔵王温泉）
昭 44/3/30	周年記念誌「山形県PTA20年のあゆみ」の発刊
昭 47/ 9/ 8	県P会員意識調査（対象1525人、回収率80%、「PTAの必要性を認める95%」）
昭 52/ 9/17	「県PTA百人委員会」の発足（県教育会館大会議室）
昭 52/11/15	県PTA第1回海外研修（15～25）イギリス・フランスの家庭、学校訪問
昭 53/ 2/ 2	県PTA専門委員会答申「県PTAの在り方にかかわる基本的な課題」
昭 53/ 9/ 8	30周年記念県PTA研修大会（県民会館）、記念誌「県PTA30年のあゆみ」の発刊
昭 53/ 9/ 8	PTA会員の教育問題意識調査（専門委員会の発足）
昭 54/ 4/	「子どもにお手伝いをさせる運動」を提唱
昭 55/ 9/13	第12回東北PTA研究大会・第32回山形県PTA研修大会（山形市・蔵王）
昭 62/11/27	県教育委員会と県PTA連合会の教育懇談会（県あこや会館）
昭 63/ 9/ 2	第40回山形県PTA研修大会（山形蔵王）・結成40周年記念祝賀会（オーヌマH）
昭 63/12/19	県PTA40周年記念誌出版
平 3/ 9/ 6	第29回東北ブロック研究大会・第43回山形県PTA研修大会（鶴岡市）
平 4/12/10	第1回県PTA母親委員会設置委員会（オーヌマH）
平 5/ 8/20	第41回日本PTA全国研究大会・第45回山形県PTA研修大会（山形市）
平 10/ 7/23	第1回県PTA安全会運営委員会（11年度実施・加入促進を審議）
平 10/ 9/21	第30回東北PTA研究大会・第50回山形県PTA研修大会（天童市）
平 10/11/14	山形県PTA連合会50周年記念式典・講演会・祝賀会（オーヌマH）
平 11/3/31	山形県PTA連合会創立50周年記念誌「最上川」刊行
平 12/11/21	県PTA連合会総会・県P安全互助会総会（オーヌマH）
平 13/11/22	第1回合同教育懇談会（県教育委員会・県高校PTA連合会・県PTA連合会）（Hキャッスル）
平 14/11/21	山形大学教育学部の存続を求め20万人の署名を集め文科省に提出
平 15/ 2/ 4	山形大学教育学部の存続を求めるシンポジウムの開催（議長・板垣県P連会長）
平 17/ 6/	日P全国協議会総会で、逸見良昭県P連会長が日P全国協議会副会長に就任
平 17/ 9/10	第37回東北ブロック研究大会・第57回山形県PTA研修大会（村山市）
平 19/ 4/ 1	「安全互助会」は自主運営を断念し、新たに民間保険会社と契約して事業を継続
平 20/ 6/20	県PTA連合会結成60周年記念祝賀会（Hキャッスル）
平 20/10/18	県PTA連合会結成60周年記念研究大会鶴岡田川大会（鶴岡市）
平 21/ 1/31	県PTA連合会結成60周年記念誌「最上川」刊行
平 21/6/	日P全国協議会総会で、遠藤正明県P連会長が日P全国協議会副会長に就任
平 21/ 9/ 7	保護者の意識調査「保護者と学校、子どもと親のコミュニケーション」県内1800名対象
平 22/ 3/ 1	意識調査「保護者と学校、子どもと親のコミュニケーション」報告書 発刊
平 22/10/5	県PTA連合会「親子読書推進委員会」発足
平 23/4/～	3/11東日本大震災に関わる支援活動（物資の提供、支援金の募集、避難児童生徒への支援）
平 24/3/29	県PTA連合会の事務局が県立山形東高等学校内に移転
平 24/6/28	日P全国協議会総会で、武田岳彦県P連会長が日P全国協議会会長に就任
平 24/9/8～9	第44回東北ブロック研究大会酒田・飽海大会開催（酒田市、遊佐町）
平 25/3/23	県PTA連合会の事務局が県保健福祉センター内に移転
平 26/2/1	文部科学省委託事業「ネットモラルキャラバン隊」研修会を山形・遊学館で開催
平 26/4/～	ネットモラル育成に向けた親学開催・啓発DVD発刊、復興支援交流活動（石巻・南三陸）
平 27/4/～	親学「いのちの大切さに関する研修会」開催補助
平 27/4/～	県PTA安全互助会は賠償責任補償を拡充した㊦A/B/Cの3コースを新設

〈常置委員会〉山形県PTA 連合会安全互助会委員会

目的

本会は、県P連に加入する単位PTAの児童・生徒の学校管理下外の事故、並びにPTA会員PTA活動に伴う不慮の事故に対する傷害補償及び賠償責任補償措置を講ずるとともに、PTA活動への助成を行うことにより、安全教育の向上と健全育成及び会員の福祉の増進に寄与することを目的とする。
(会則・第3条)

事業

- (1) 会員の安全指導の徹底及び安全対策の推進
 - (2) 児童・生徒の学校管理下外における事故に対する傷害補償及び日常生活での偶然な事故による賠償責任補償に対する手続き
 - (3) PTA会員のPTA活動中における事故に対する傷害補償及びPTA行事における事故に伴う賠償責任補償に対する手続き
 - (4) PTA活動への助成
 - (5) 広報活動に関すること
 - (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業
- (会則・第4条)

〈常置委員会〉山形県PTA 母親委員会（平成5年設立）

趣旨

- ★母親・女性の立場から問題・課題を捉え活動に反映させる
- ★養育過程で子どもと多くのかかわりをもつ母親の研修や情報交換を活発にして家庭教育を充実させる
- ★女性リーダーとして、子育てを共に考え活動する仲間と手を携え、PTA活動の活性化をはかる

活動

〈情報交換・研修会・講演会・「たより」の発行〉

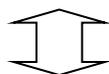
- 母親同士のネットワークを図り、子どもの個性を伸ばしてあげられる温かい家庭教育のあり方を求めて学習する
- 多くの人や考え方と出会い、広く深い様々な話を聞いて、母親委員会の活動を活発にする
- 母親委員会での活動状況を報告し、研修の成果や家庭教育における課題をPTA会員と共有するために「母親委員会だより」を発行する

組織

- ◆ 山形県PTA連合会

山形県PTA母親委員会（各郡市P連代表 12名）

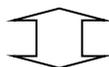
- ◆ 各郡・市PTA連合会（協議会）



情報交換

郡・市PTA連合会（協議会）母親委員会

- ◆ 単位PTA



情報交換

各小・中学校のPTA母親委員会